

# IRIS療法を 受けられる患者様へ

## IRIS療法について

この療法は、イリノテカンという注射薬と  
テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤という  
経口薬を組み合わせで行います。  
イリノテカンとテガフルはがん細胞に作用して、  
がん細胞の増殖を抑制します。

## 投与スケジュール 今日 ( / ) は サイクル 日目

1日目に注射薬を投与します。  
1日目の夕から15日目の朝(14日間)に経口薬を服用します。  
21日間を一区切り(1コース)とします。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16-21
注射薬																
経口薬・朝																
経口薬・夕																

ここに示したスケジュールは参考であり、  
患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

## 点滴で投与する薬について

デキサメタゾン  
パロノセトロン  
ブチルスコポラミン

吐き気止めのお薬です。  
30分かけて投与します。



イリノテカン  
(    mg)

抗腫瘍薬です。  
90分かけて投与します。



生理食塩液

お薬を洗い流します。  
5分かけて投与します。

## 内服薬について

1日目	2日目	3日目
		

吐き気止めのお薬です。吐き気が無くても服用してください。

# 副作用について

自覚できる副作用

アレルギー反応  
急性嘔吐  
下痢 発汗

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

遅発性嘔吐  
食欲不振  
便秘 倦怠感

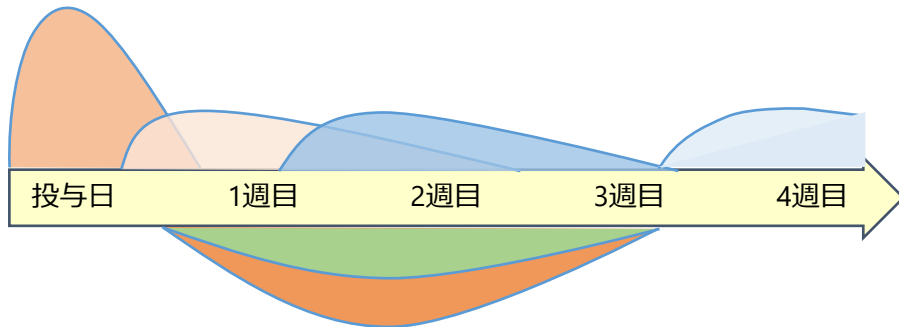
気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。

口内炎 下痢

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

脱毛 色素沈着  
味覚の変化

髪の毛は、治療終了後半年くらいで再び生えてきます。



肝障害 腎障害

白血球減少  
血小板減少

感染予防のため、手洗いをこまめにしっかり行いましょう。38℃以上の発熱がある場合は病院に連絡をして下さい。

自覚できない副作用

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。